

第二章 風土に根ざした家づくりのくふう

2-1 風土に根ざした住まいの表情

強い日差しと雨風から建物を守り、私たちの暮らしを守る住まいの形(外観)は重要です。

沖縄らしい外観は建物や暮らしを守るだけでなく、地域の景観の一部として潤いある表情をもたらしてくれます。

(1) アマハジ的空間を…

・ 伝統的なアマハジ空間は、影をつくり涼を呼び、生活にかかせない豊かな表情をつくりだします。

(2) 壁面を柔らかく…

・ 暑さを和らげるために、閉ざされた大壁ではなく、風が通り抜ける面による柔らかい表情をつくりましょう。

(3) 大きな形状は分割して…

・ 大きな屋根は、小さく分割して陰影をつけ、伝統的な集落のイメージを作りましょう。

(4) 地域の素材(材料)による表現を…

・ 石垣や赤瓦、花ブロック、琉球ガラス等で構成された素材(材料)で沖縄らしい表情を作りましょう。

(5) 周辺と調和した景観を…

・ 周辺のまち並みや素材に調和したゆとりある外観で、外部と一体感のある表情をつくりましょう。

(6) 新しい形で風土の表現を…

・ 新しい素材(材料)や工法を用いた構成による新しい形態で、沖縄の伝統的な空間を現代的に再現しましょう。



久護家住宅(名護市屋部) 地域の景観の一部として潤いをもたらしています

(1) アマハジ的空間を…



深い庇と影のある彫りの深い形状は、豊かな生活空間をつくります

(2) 壁面を柔らかく…



格子やルーバーなどで作るスリット(すきま)は、大きな壁面の圧迫感をなくし、建物の表情を柔らかくします

(3) 大きな形状は分割して…



小さな屋根の組み合わせが沖縄らしいイメージをつくり出し、分離された屋根や分割された多くの壁面で構成された陰影は涼しさをさそいます

(4) 地域の素材による表現を…



石垣囲いや、赤瓦屋根で地域の材料のもつ質感を出し、沖縄らしい雰囲気をかもしだしています

(5) 周辺と調和した景観を…



周辺の表情と調和した屋上緑化で、ゆとりと潤いのある住環境を作りだしています

(6) 新しい形で風土の表現を…



鉄筋コンクリートと鉄骨等の構成による新しい形で、沖縄の伝統的空間を再考し、日射調整、風通しの確保等気候風土を考慮した現代的な家づくりをしています

2-2 敷地形態を活かした住宅

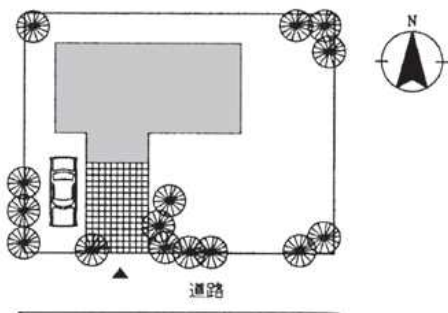
敷地の形態にはいろいろあり、その活用方法を考えることが、家づくりの第一歩です。道路、周辺環境、方位等を総合的に踏まえ光や風をうまく利用する住宅配置が望ましいと言えます。

住まいの配置と屋敷囲いは、道路や隣近所との関係を位置づける重要な要素です。家並みやまち並みを親しみのあるものにする上でも十分な配慮と思いやりが望まれます。

建物の配置を工夫して、敷地にゆとりをつくり植栽をします。植栽は緑の柔らかな景観をつくるだけでなく植物の持つ蒸散作用によって、周辺の温度を下げる効果があり、涼しい風も呼び込みます。

(1) 南入りの敷地

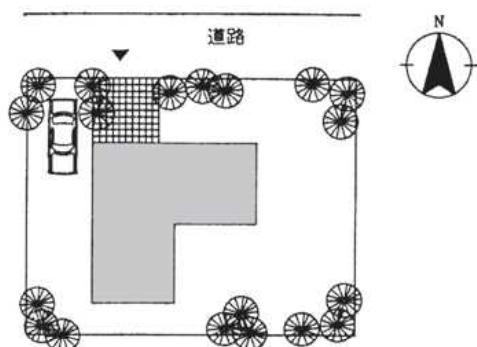
- ・ 通路側に庭をつくり、植栽をする事によって南風を呼び込むことができます。
- ・ 南東に開口部を設けて、光、風を入れる事ができます。
- ・ 庭と一体となった解放感のある豊かな表情が作れます。



アプローチと一体となった庭が広がり豊かな表情をかもしだしています

(2) 北入りの敷地

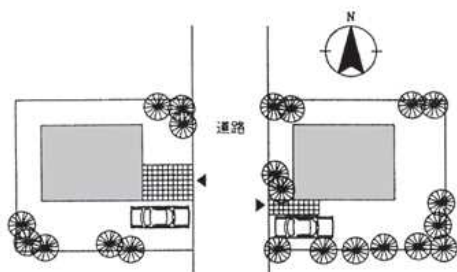
- ・ 冬における、風と光の調整が必要です。
- ・ 南東に庭を設けて、風、光を取り入れるようにしましょう。
- ・ 隣地側に開口部を開くので、プライバシー等に工夫が必要です。
- ・ 北側が、閉鎖的になりがちのため道路沿いにゆとりがある表情をつくりましょう。



道路側の植栽などで通りに潤いを与えています

(3) 東西入りの敷地

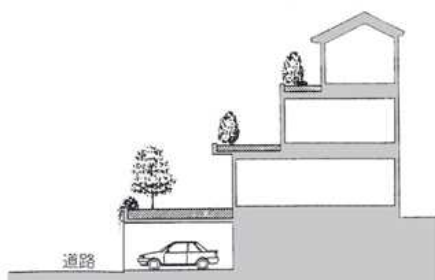
- ・ 朝日や西日を遮りながら植栽や格子ルーバー等を用いて涼しさを感じる表情をつくりましょう。
- ・ 隣地側に開口部を設ける場合は窓の配置、形状に考慮しましょう。
- ・ 道路側の表情を活かすデザインにしましょう。



開口部の配置や植栽等で隣地に配慮しています

(4) 道路より高い敷地

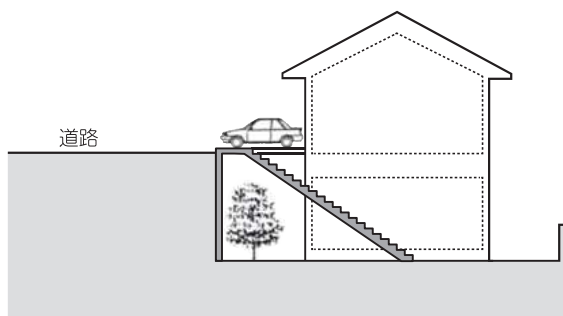
- ・ 道路側に圧迫感がないように植栽等で工夫しましょう。
- ・ 建物をひな段状に計画するのもひとつの工夫です。
- ・ 敷地の利用と共に車庫やアプローチと一体となった断面計画が必要です。



擁壁や植栽に工夫し、道路側への圧迫感を柔らげています

(5) 道路より低い敷地

- ・ 平面計画と共に、断面計画で風、光、湿気、排水等に工夫が必要です。
- ・ 光を取り入れ、湿気を抜く為、ドライエリア等を設けましょう。
- ・ 雨水、排水等の処理には特に注意が必要です。



道路側に車庫を設け、外部階段を利用して敷地側へアプローチしています

2-3 間取りについて考える

(1) 涼しさは平面プランから

間取りを考える場合は、まず南に開き開放的で快適な間取りを考えると共に、日常生活における家族の対話の図れる家づくりを目指します。さらに、家庭内での行事の多い沖縄の生活習慣を考慮し、「つづき間」的な間取りを考えましょう。

■風が通りやすく…

沖縄の夏の風は、南の方向が主なので、開口部は南に開くように計画することが望ましい。風を十分に取り入れて涼しく生活ができるように計画しましょう。

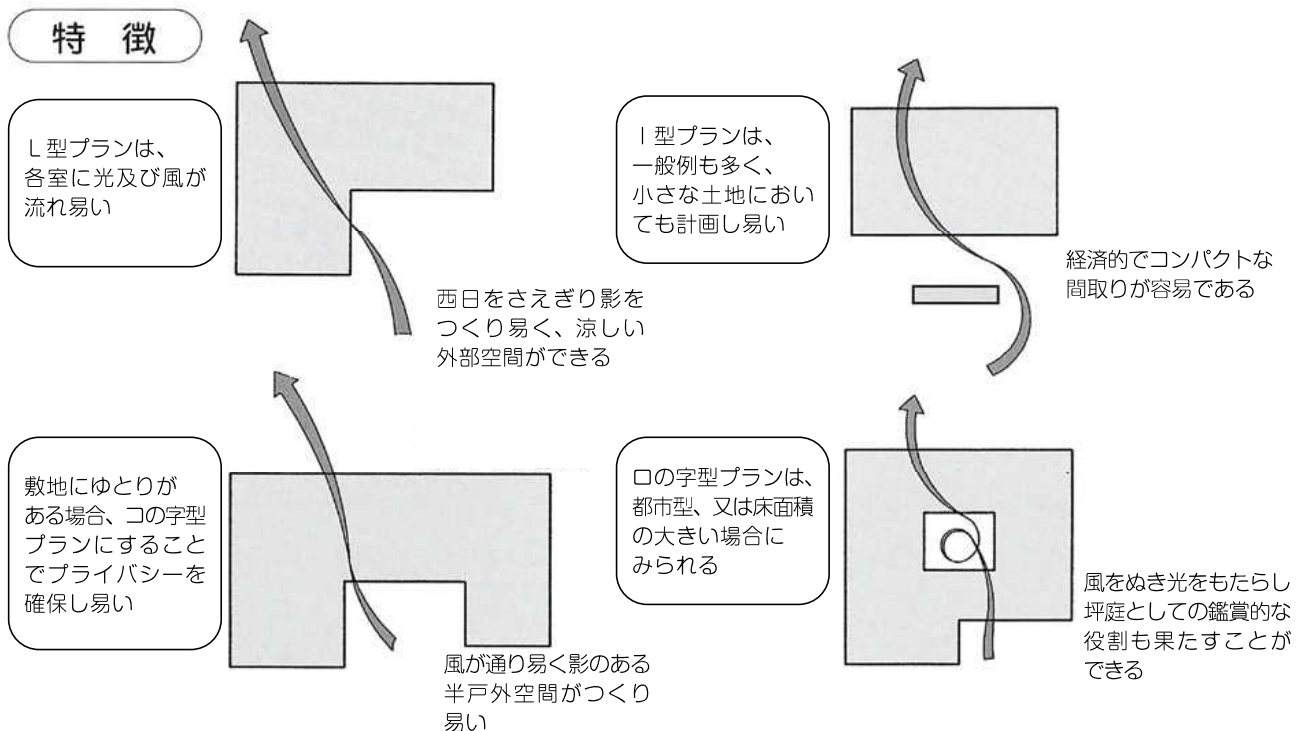
■「つづき間」の生活空間を…

多世代の同居や、親類などが集まる行事が多いことから、家族の対話が図りやすく、多目的に使える「つづき間」の平面計画が望ましい。

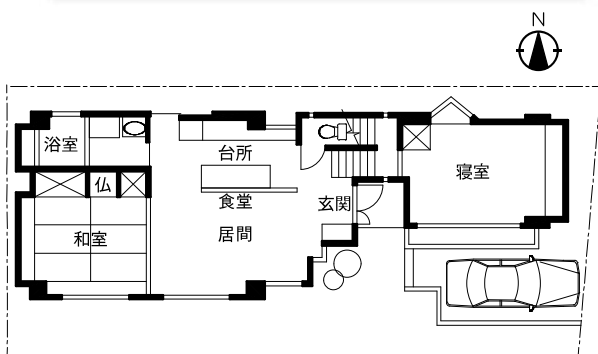
■方位について…

家の向きや玄関の位置に加えて、仏壇、台所、風呂、便所などについても、十分に検討することが望ましい。仏壇は、南又は東に向くのが一般的です。

(2) 平面の基本形について

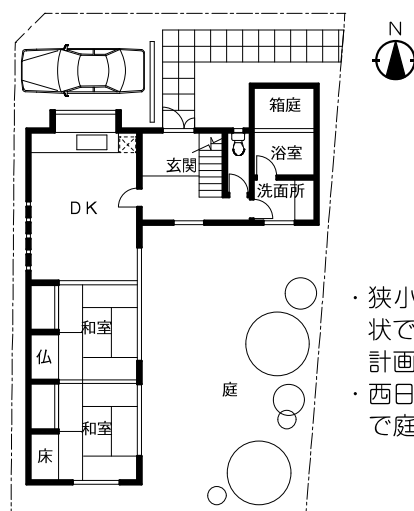


南に開いたI型住まい



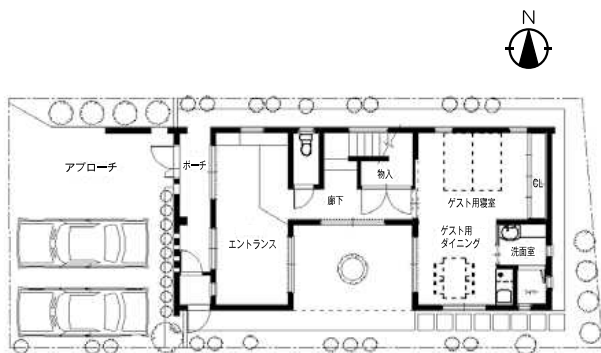
- ・南面にハキ出しの大きな開口を設け、風を通り易くした計画
- ・経済的な計画である

L字型に配置された住まい



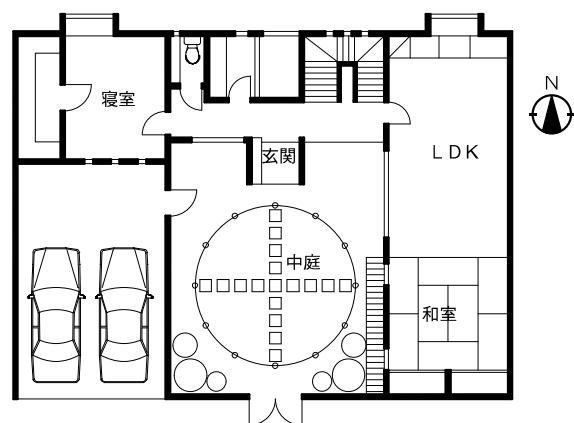
- ・狭小敷地にL字型状で採光を確保した計画
- ・西日をさえぎることで庭に影ができる

コの字型に配置された住まい



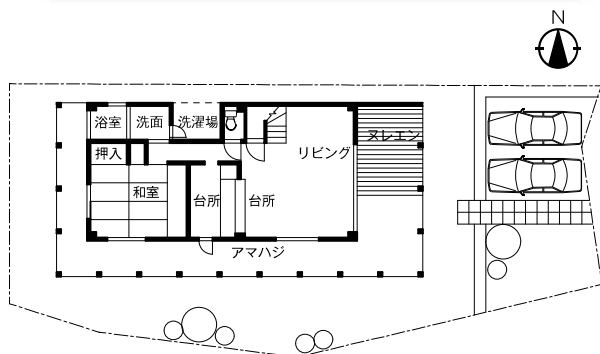
- ・コの字型にかこまれた庭に面した開口を設け、風と光を取り入れる事のできるプラン

中庭のある住まい



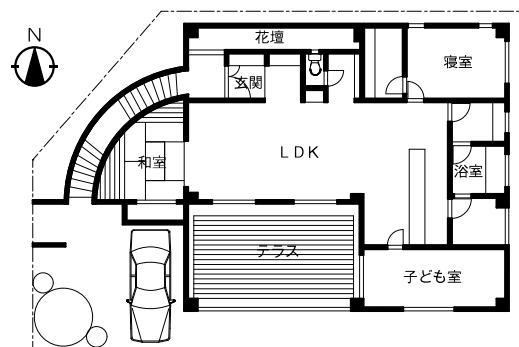
- ・中庭を設け風と光をとりいれる
- ・内部全体が見渡せることができ外部からのプライバシーを守ることができる

アマハジのある住まい



- ・南面にハキ出しの大きな開口を設け、風を通り易くした計画
- ・伝統的なアマハジで影をつくりだす

半戸外のある住まい



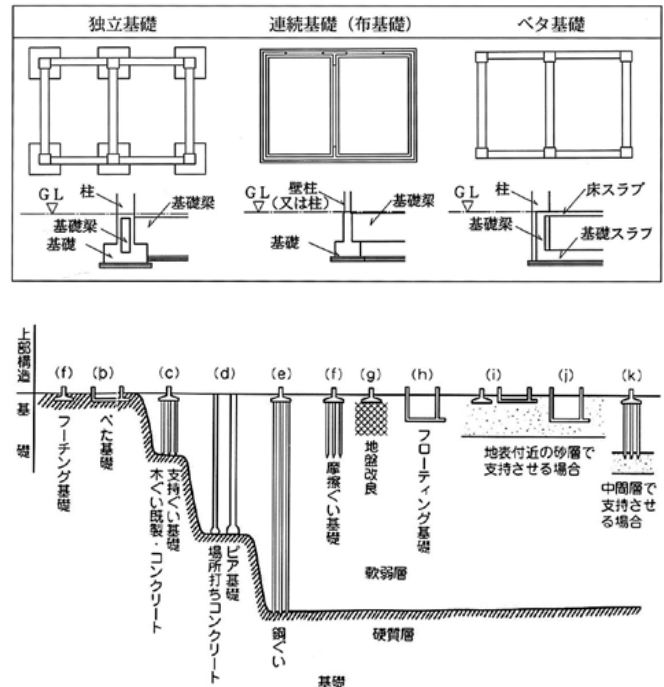
- ・リビングと一体となった使い方ができる半戸外のテラス
- ・半戸外をつくることで外部からの視線をさえぎる

2-4 構造について考える

建物の構造形式にはいろいろな種類があり、その選択は構造的にも意匠的にも大きなポイントになります。それぞれの構造形式には特性がありますので、コスト、敷地形状、平面計画等をよく考えた上で選びます。

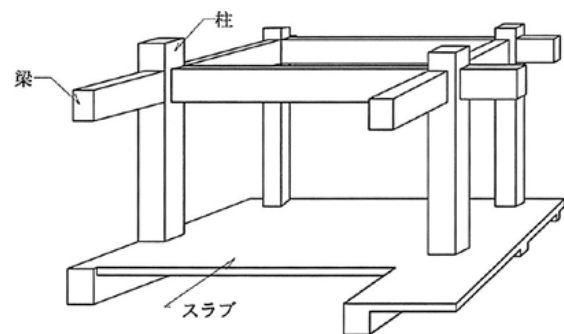
■基礎

- ・住宅でよく使われる基礎は、大きく分けて右図のように、独立基礎、連続基礎、べた基礎の3種類があり建物の構造形式や地盤の状態に応じて最適なものを選びます。
- ・軟弱な地盤で十分な支持力が得られない場合、杭によって下層の堅固な地層に支持させます。杭にも支持杭や摩擦杭等いろいろな種類があります。また、それ以外にも地盤改良等、多種多様な工法があります。
- ・基礎の形式は、地盤の状況だけではなく建物の構造形式とも密接なつながりがあるため、建物の設計に先だって地盤調査を行う必要があります。十分な調査をして、過少設計や過剰設計を防ぎましょう。



■鉄筋コンクリート造ラーメン構造(RC造)

- ・右図のように柱と梁(及びスラブ)の強固な組合せで力を負担する構造形式です。
- ・柱と柱の距離(スパン)を大きくすることができ、壁の少ないオープンな間取りが可能です。
- ・窓などの開口が大きな建物に適しています。



■鉄筋コンクリート造壁式構造(WRC造)

- ・柱の代わりに耐力壁が力を負担する構造形式です。
- ・柱を気にせずに自由な平面計画が可能です。耐力壁を細かく配置する必要があります。
- ・RC造と比較すると大きな開口部がとりにくい。
- ・部屋単位で構成する間取りに適しています。



■木 造

- ・木の柱と梁を組み合わせて架構する構造形式です。
- ・RC造等比べて軽いので、比較的弱い地盤でも施工可能で、RC造のような強固な基礎を必要としません。
- ・台風・火災・白アリ等の要因で沖縄では着工件数が減っていましたが、最近
は木造の良さが見直されつつあり、ここ数年は着工件数も増えてきています。



■鉄骨構造(S造)

- ・鉄骨の柱と梁を組み合わせて架構する構造形式です。
- ・窓などの大きな開口をとることができます。
- ・外気にふれる金属には腐食対策が必要です。
- ・RC造と比較すると建物の揺れが大きいので、耐震性を高める為にブレースを適切に配置する必要があります。



■補強コンクリートブロック構造(CB造)

- ・コンクリートブロックを積み上げて壁体を作り、壁頂部にコンクリートの梁を配置し、その上にスラブを乗せる構造形式です。
- ・RC造やWRC造と比較して型枠の使用量が減るのでローコスト化が図りやすいです。
- ・ブロック内部の空洞に水がたまることがあるので、ブロック壁部分の防水対策等は施工時に細心の注意が必要です。



■併用構造

- ・例えば、1階はRC造で2階は木造や鉄骨造など、2つ以上の構造形式が混在しているもの。
- ・また、同一階で外壁はRCやCB造で構成され、梁や屋根は木造等の異種材料を組み合わせたもので各々の材料の長所を取り入れ、それぞれのメリットを活かしやすいです。
- ・併用構造は、異種構造間の特性を十分に考慮し慎重に設計する必要があります。

